



# ぐんぐん

立山北部小学校

1年 学年だより

令和5年度 No.5

## 積極的にチャレンジする2学期に...

2学期がスタートして、2週間あまり。子供たちも、少しずつ学校生活のリズムを取り戻してきています。片仮名や漢字の学習も始まり、はりきって学習にも取り組んでいます。運動会に向けての学習も始まりました。2学期は、一年間で一番長く、子供たちの学校生活も充実します。子供たちが学習や運動に積極的にチャレンジし、大きく成長していってくれることを期待します。

## 学習したことを生かして...

先日、教室で「2学期も本気・元気・勇気でがんばろう」発表会を行いました。「新しく学習する漢字の練習をたくさんする」「大きな声で挨拶をする」「文字がたくさんある本をたくさん読む」等、どの子も、自分なりの理由を述べ、2学期への意気込みを感じました。発表後、友達の話を聞いて、感想を伝え合いました。「Aさんの『指を使わずに計算することができるになりたい』というのがよかったです。わたしも指を使って計算しているからです」「Bさんは、大きな声で言っていたので分かりやすかったです」「Cさんは、最初うまく言えなかったけれど、勇気を出してもう一回、ちゃんと言ったところがすごいと思いました」等、①話の内容について、②発表の仕方について、③発表に向かう心構えについて等の視点から、友達のよいところを見付けることができました。まずは、自分と比べながら話を聞くことができたことや、友達のよいところを見付けることができたことを大いに褒めました。そして、「よいところ」の視点の違いについても話をしました。後日、1～6年生代表の「2学期もがんばろう発表」がありました。感想発表では、自分と比べながら話を聞き、①、②、③の視点で感想を伝え合う様子が見られました。学んだことを早速生かしている姿に、子供たちの成長を感じました。



## おすすめの家庭学習

国語	言葉あつめ①	テーマを決めて、言葉あつめをする。(ノートに1ページ書く) 例 食べ物、乗り物、おもちゃ、色、動物、天気、楽器等の言葉
	言葉あつめ②	生活の中で片仮名を見つけて、読んだり、書いたりする。
算数	数唱の練習	① 1～20までを数える。 ② 20、19、18...と逆から数える。 ③ 2、4、6、8...と2とびで数える。 ④ 5、10、15、20...と5とびで数える。
生活	自然観察	きれいな草花やめずらしい虫等、身の回りのおもしろい物を見つけたら、タブレットのカメラで写す。
体育	なわとびの練習	前跳び、後ろ跳び、片足跳び等を練習する。

○待ちに待った漢字の学習が始まり、子供たちは、はりきって取り組んでいます。「『いちねん』と書くときは、もう漢字だね」と言いながらにこにこしている子供もいます。しかし、「たねが大きい(多い)」「大きま(王さま)」「一ご(苺)」等と書いてしまうこともしばしばです。漢字には一つ一つに意味があることを話しています。宿題等で、お子さんが書いている様子を見ていただき、正しく使っているか確認したり、励ましの声をかけたりしてあげてください。

○9月28日(木)に富山市ファミリーパークへ行きます。普段通りの登校です。当日は、弁当の準備をお願いします。詳細につきましては、後日お知らせします。

## 楽しみながら…

子供は、“やりたがりや”で何でも自分でやってみたい、難しいことも自分で挑戦したいと思っています。そして、遊び心を活かしたゲームが大好きです。



チップ取りゲーム



メイク10抜きゲーム

算数の「たし算・ひき算」では、習熟をねらいとした「チップ取りゲーム」をしています。サイコロを使うので、子供の能力の個人差が突出しないで対等に遊ぶことができます。順序を守ってルール通りに学習行動する基礎習慣の育成にもなります。また、「いくつといくつ」では、「メイク10抜きゲーム」をしています。ババ抜きならぬ「10抜き」です。2枚合わせて10になるカードを抜いていき、手持ちのカードがなくなった人が勝ちとなります。国語では、言葉集めやしりとり等、様々な「ことばあそび」です。今は、表を縦や横、斜めに読むなどして、言葉を見付けたり、問題を作ったりしています。問題を作る活動では、知っている言葉を手がかりとして、時には、それをつなぐために新しい言葉を見付けることもできます。また、作った問題を友達に解いてもらうこと



友達と答え合わせ

ゆ	か	た	ぬ	き
に	き	こ	り	っ
い	か	お	え	ね
ん	い	と	ん	こ
た	に	ど	こ	な

子供が作った問題

で、自分が気付いていない言葉が見付かることもあります。みんなが作った問題を集め、冊子にし、休み時間や隙間の時間に解いています。

このように楽しみながら、取り組める活動をこれからも取り入れていきたいと思えます。「メイク10抜きゲーム」や「ことばあそび」は、家庭でもできます。家族で楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 「じぶんのいのちはだれのもの？」～道徳科の学習から～

子供たちは、学校生活にも慣れ、行動する範囲も広がっています。いろいろなことにチャレンジしながら自分を伸ばそうとする行動も見られます。しかし、時に、よく考えないで行動してしまい、思わぬ怪我につながることもあります。自分の命が家族と繋がり、家族に支えられていることを感じる事ができたなら、よく考えて行動し、自分の命を大切にすることはもちろん、他人の命や動植物の命も大切にすることができるのではないかと考えます。

### 【あらすじ】

いつもはひろしが、遊んで怪我をして帰っても、「一生懸命遊んだから、元気元気」と言ってくれるお父さん。ある日、危ないと感じながらも、わざとガラスを割って、怪我をしてしまう。傷の手当てをしていると、いつもにこにこ笑ってくれるお父さんが真剣な顔でだまっている。そして、静かに「ひろし、お父さんは、ひろしの体がこういうふうに傷付けられるのは、本当に悲しい。いつも学校で元気に遊んでする怪我と今回の怪我の違いをよく考えてみなさい。そして、ひろしの体は、誰のものかよく考えてみなさい。決して自分だけのものではないよ」と話す。

授業の始めに「命って？」と聞くと、すぐに「大切なもの」「一つしかないもの」という答えが返ってきました。そして、「自分の命は誰のもの？」と聞くと、ほとんどの子供たちは、「自分のもの」と思っているようでした。その後、ひろしの気持ちを中心に、お父さんの気持ちも考えていきました。ガラスで怪我をしてしまった場面と、お父さんが静かに話し始めた場面では、「もしかしたら死んでいたかもしれない」「さすがにお父さんも怒る」「お父さんは、自分の子供が大切。だからすごく心配している」「お父さんに心配をかけて、悪かった」「自分の命は、自分だけのものではないんだ」等の意見が出ました。始めは、「自分の命は、自分のもの」と思っていた子供たちでしたが、ひろしとお父さんの気持ちを考えることを通して、自分の命は家族の思いや願いに支えられていることを感じたようでした。ご家庭でも、家族の子供たちへの温かい思いを伝えてあげていただけるとうれしいです。

